

事例6 図画工作科「カレンダー作り」授業の実践（小学校特殊学級）

1. 学級の概要

(1) 児童数

1年1名 3年1名 4年1名 5年2名 6年3名

(2) 指導体制

①知的障害学級、情緒障害学級各1（担任3名）

②個別学習など課題によっては三グループに分かれ、それぞれの担当が年間を通して指導する。全体で行う学習（生活単元学習、総合、音楽、図工、体育など）は一人がリーダーとなり、他の教師は、個別の支援をするなどの形態で指導を行っている。

(3) 週時程表（資料1参照）

①原則的に、全員「朝の会」と給食（回数は児童により違う）、行事は交流級で参加。

②音楽・体育・図工などの教科交流は、児童の実態に応じて行う。

③基本的な時間割は下表の通りである。生活単元学習や総合的な学習は、行事や交流の時間割と調整しながら随時設定する。

(4) 年間指導計画（資料2参照）

子ども・保護者に「どんな学習をしたいか」というアンケートをとり、その結果も採り入れながら計画を立てている。

2. 実践の概要

本学級の8名の児童は、初めての活動には不安そうな様子を見せることがあるが、友達や教師のしていることに関心が高く、同じようにやりたいという意欲を示す。そこで、児童が主体的に学習に取り組めるように、日頃から次のようなことに留意して授業作りをしている。

①授業の始めに今日の学習内容を話したり、作成するものなどを具体的に示したりして、先の見通しを持てるようにする。

②学習の計画など、できるだけ児童と相談しながら進めるようにする。

③学習の流れを同じような形にしたり、教師や友達が見本を示す場を設けたりして、イメージを持って活動に取り組めるようにする。

④季節単元など、繰り返して同じ学習を採り入る中に、適宜、新しい教材なども採り入れ、新鮮な気持ちで取り組めるようにする。

⑤児童の興味・関心、手先の巧緻性などを考慮した教材・教具を工夫する。

本実践「カレンダー作り」は、季節単元として毎年取り組んでいるものである。ほぼ同じような流れで学習を進めているが、その年の児童の実態に応じて学習計画や教具などを工夫している。

本報告では、図工の学習に対する抵抗感があり、集中して取り組むことが難しかったAさんの様子を中心に、授業の改善についてまとめた。

(1) 児童の様子

①実態

Aさん。自閉的な傾向がある。聴覚からの情報が入りやすく、教師の口真似、街の音声、テレビ番組のセリフなど良く覚えている。電車などの乗り物が好きで、絵本や図鑑を見たりして、何線がどこを走っているかなど良く知っている。

ひらがな・カタカナ、身近な感じが読める。ひらがなはすべて書け、カタカナも書ける文字が増えてきた。枠から出ないように大きさを考えて書くようになってきた。数の概念はあり、2位数の大小比較も正しくできる。現在、答えが10までの加法を念頭でできるよう学習中。

「花丸をもらおう」ということを励みとして、プリントの課題に集中して取り組めるようになった。

図工など手先を使うこと、体育や音楽で動きを伴う活動には苦手意識があり、進んで取り組むことは少ない。やりたくないと思う時、集中力がきれてしまった時など、離席したり教室から出てしまったりすることがある。

初めての場所や物に抵抗があり、親戚の家でも食事をするのを嫌がることがあったという。家庭では本人の意思を尊重しながら、できるだけいろいろな体験をさせるようにしているようである。

②目標

言葉での指示や物事の関係性を理解する力はあるので、適切な声掛けをしながらはげまし、苦手なことにも取り組んでやり遂げる喜びを味わい、さらにもてる力を伸ばしたい。

また、先の見通しを示したり、課題を選択させたりして意欲を喚起し、集中力・持続力を高めたい。

(2) 題材の指導計画 図工科「カレンダーを作ろう」

①ねらい

- ・「完成したらプレゼントしよう」という目的意識をもって、最後まで集中して取り組み、協力してカレンダーを作りあげる喜びを味わう。
- ・できあがりイメージしながら版作りや色の選択をし、手順を理解してカレンダー作りをする。

②学習計画（資料3参照）

(3) はじめの授業展開と児童の様子

Aさんは日頃から暦に対する関心は高く、もうすぐ1年が終わるということがわかっていました。また、「カレンダー作り」の学習はすでに2回経験しているので、「カレンダーを作りたい」という気持ちで学習にとりかかることはできた。

今年のカレンダーがもうすぐなくなることから、「また今年も作ろうか？」という話をしたら、「2003年のカレンダー作るの？」と何度もたずねていた。

しかし、下絵を描く活動の際には「カレンダー作らない！」と言って離席してしまった。印刷に入ると、「〇月のカレンダー作る？」と意欲を示して作業に参加することもあったが、集中力が切れると、やはり教室の外に出てしまいがちであった。

(4) 授業作りの検討事項及び留意点

Aさんは、先の見通せない活動にはとても抵抗が大きい。今やっていることがその後どのようになっていくのかという予測が立たない時に、強い抵抗を示すことが多い。プリントの課題では、「終わり」がわかりやすいので意欲的に取り組みると共に、机や椅子などの枠があることによって落ち着くようである。また、手先の巧緻性に不安があり、思い通りに作業ができない時に集中力が切れがちであった。そこで、「カレンダー作り」の学習において、次のような点について検討した。

- ①先の見通しが持てるような授業の流れの工夫
- ②落ち着いて活動に取り組めるような教室環境の工夫
- ③作業がスムーズにできるような教具の工夫

(5) 改善した授業展開と児童の様子

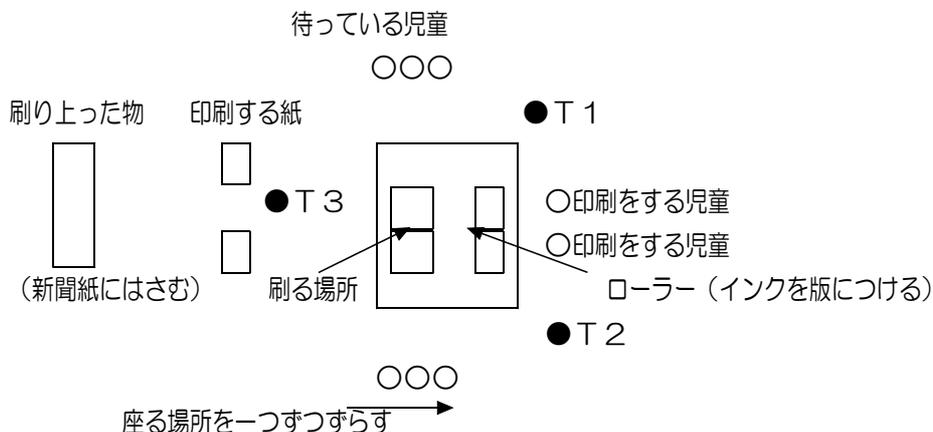
①授業の流れの改善

授業の始めに、最終目標であるカレンダー（2002年のもの）を示し、今日は何の工程をやるのかということをはっきりさせてからスタートさせることにした。また、「～ができたら終わり」と、今日の活動の最終地点も示しておき、集中力が切れそうになったら「あと〇枚で終わりだね」などと声を掛けるようにした。

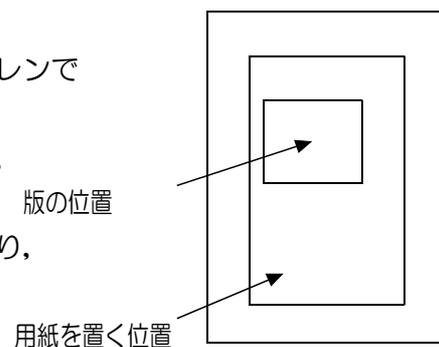
また、進捗状況がわかるように表を作り、授業の終わりにどこまでできたか、次の活動は何かを確認するようにした。

②教室環境の改善

印刷などの作業が流れやすくなるように机の配置を工夫した。順番を待つ時に見通しが持てるように、座る場所を一つずつずらしていくようにした。また、楽しい雰囲気のできるように音楽を流した。



- ・ローラーでインクを版につけたら用紙を取りにいく。
 - ・ガイド（右図）に合わせて版を置き、用紙を置いてバレンでこする。
 - ・すり終わったら数枚重ねて綴じてある新聞紙にはさみ、新聞紙を一枚めくる
- という一連の作業がとてもスムーズに流れるようになり、ほとんど声を掛けなくても作業ができるようになった。



座席をずらすことによって順番が目に見えてわかるようになり、Aさんだけでなく他の児童も落ち着いて順番が待てるようになった。

③ 教具の工夫

休みの日の数字の上に印を押す作業では、今までは木のペグを使っていた。しかし、鮮明に押すことができずにAさんはあまり好まなかった。そこで軽く押しでもインクがつき易いことから、消しゴムを使うことにした。更に、休日のところだけが空いている枠を使うことにより、自分の力で作業を進めることができ、集中して取り組めるようになった。



3. 成果と課題

(1) 児童の変容

以上のような改善により、Aさんは学習の途中に場を離れることが徐々に減り、最後の頃には、授業の終わりまで集中して取り組むようになった。また、工程表を見て、「〇月の印刷終わったネ」「今度は〇月をやりたい」などと話したり、自分でやりたい仕事（印刷をするか休日の印を押すかなど）を伝えたりするようになった。

その後の図工の学習でも、行事の絵などを意欲的に描く姿が見られた。今まで乗り物の絵しか描こうとしなかったAさんが、進んで人物画を描くようになった。



(2) 授業づくりの成果

本単元「カレンダー作り」は、学級の児童だけでなく、保護者や校内の先生方、近隣の学校からも毎年期待される活動となっている。「プレゼントして喜ばれたい」という思いを

持つことは児童の活動への意欲を更に高めることができると共に、人とのかかわりを広げることができるので、今後とも大切にしていきたいと思う。

授業づくりにあたって、他の教師と、単元の流れの検討や一つ一つの活動の分析、児童の特性などについて話し合った。その中で、教具の改善のアイデアが出たり、それぞれの児童に対する適切な支援を共通理解したりできた。

また、机の配置や教具の工夫などにより、Aさんだけでなく他の児童もスムーズに自分の力で集中して取り組めるようになった。教師の指示の声が減り、落ち着いて学習が展開できた。

また、Aさんには「～まででできたら終わり」という明確な指標を示すことで見通しをもって学習に取り組めるということが再確認された。この他にも、「ローラーの転がし方が花丸だね」など、Aさんの大好きなキーワードを使って良い点を評価することも、意欲の高まり、集中力の持続にたいへん効果的であることがわかった。

(3) 今後の課題

本単元のように毎年繰り返す活動は、児童にとってイメージをもって取り組みやすい学習であるが、それだけに、新しい発想が出にくいという面がある。

「カレンダーを作る」という目的だけでなく、活動の過程での学びを大切にするためには、毎年同じ形で展開するのではなく、児童の実態や思いをとらえて、柔軟に計画を立てる必要がある。そのためには、日頃から、児童が選択できるような種を蒔いておくことが大切である。

また、どのような版の材料や印刷方法が、児童の思いやもてる力を発揮できるのかなどを更に研究しておくことも必要であると思った。

資料1 4組 学習予定表

H. 14年度 第1学期 〇〇小学校 第 号
第 週 (月 日 ~ 月 日)

		こ う り ゆ う 学 級										
		(1年2組 〇〇級) (3年1組 〇〇級) (4年1組 〇〇級) (5年1組 〇〇級)		(5年2組 〇〇級) (6年1組 〇〇級) (6年1組 〇〇級) (6年2組 〇〇級)								
曜日	校時	日(月)		日(火)		日(水)		日(木)		日(金)		お知らせ・お願い
		学習内容	交流	学習内容	交流	学習内容	交流	学習内容	交流	学習内容	交流	
1	8:30 8:40 9:25	せいかつ あさの会 ・健康観察 ・学習予定	〇● (体)	せいかつ あさの会 ・健康観察 ・学習予定	〇〇 (体)	せいかつ あさの会 ・健康観察 ・学習予定	〇〇 (体)	せいかつ あさの会 ・健康観察 ・学習予定	〇〇 (体)	あさの会 ・健康観察 ・学習予定	〇〇 (体)	
2	10:10	やすみの ひの はなし	△ (音)	こくご 個別課題 学習	△ (体) 〇● (音)	こくご 個別課題 学習	〇● (音)	こくご 個別課題 学習	〇● (音)	個別課題 学習	〇● (音)	
中休み												
3	10:40 11:25	おんがく	〇〇 (音) △ (図)	う としよ	△ (体)	ざこう	〇● (図)	ざこう	〇● (図)	ざこう	〇● (図)	たいく く
4	12:10		△ (図)		△ (音)		〇● (図)		〇● (図)		〇● (図)	おんがく
給食	12:10 12:55		□ (音)		□ (音)		□ (音)		□ (音)		□ (音)	
そうじ												
昼休み	1:15											
5	1:35 2:20	さんすう 個別課題 学習	〇● (体)	さんすう 個別課題 学習	〇● (体)	さんすう 個別課題 学習	〇● (体)	さんすう 個別課題 学習	〇● (体)	さんすう 個別課題 学習	〇● (体)	
6	3:10	家庭 下校 2:35 朝会	家庭 1年下校 2:25	家庭 下校 2:35	家庭 1年下校 2:25	家庭 下校 2:35	家庭 1年下校 2:25	家庭 下校 2:35	家庭 1年下校 2:25	家庭 下校 2:35	家庭 1年下校 2:25	
行事 その他												

1~3年下校
2:25
委員会
クラブ
3:15
3:30

*委員会の日は、4
年下校 2:25で
す。

そうじ・はみがき
1年下校 1:20

そうじ・はみがき

そうじ・はみがき

そうじ・はみがき
1年下校 1:20

そうじ・はみがき

資料2 平成14年 年間学習計画

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
生活単元	<p>新しい学年・交流級 新しい友達と仲良くしようー</p> <p>豊かな体験ー思い出をたくさん作ろうー</p> <p>おかあさん・おとうさんありがとう</p> <p>←近くの学校の友達→</p> <p>←三浦に行こう →</p> <p>おじいちゃん・おばあちゃんへ</p> <p>←近くの学校の友達→</p> <p>合同学習発表会に出よう</p> <p>・何を発表するか考える</p> <p>・練習をしたり、必要な物を準備したりする</p> <p>もうすぐ〇年生</p>												
総合的な学習の時間	<p>「一年間の計画を立てよう」</p> <p>・どんな学習がしたいか考えよう</p> <p>・わからないことがあったら調べよう</p> <p>ことをしよう</p> <p>「なかよし学級」</p> <p>・なかよし学級の友達と行動する</p> <p>→ フェスティバル</p> <p>→ お出かけ給食</p> <p>国際理解教室</p>												
行事等	<p>始業式 入学式</p> <p>開校記念式 春季大運動会</p> <p>1年生を迎える会 区合同スポーツ大会</p>	<p>開港記念式</p> <p>近隣校との交流会</p> <p>終業式</p> <p>交通安全教室</p>	<p>御岳体験学習5年</p> <p>総合防災訓練</p> <p>夏休み作品展</p> <p>宿泊体験学習4年</p> <p>視聴覚教室</p>	<p>フェスティバル</p> <p>校内作品展</p> <p>近隣校との交流会</p> <p>終業式</p>	<p>始業式</p> <p>書き初め大会</p> <p>区親善球技大会</p> <p>5年</p>	<p>市個別支援学級</p> <p>合同学習発表会</p> <p>卒業証書授与式</p> <p>4年～6年</p> <p>修了式</p>	<p>6年生を送る会</p> <p>卒業証書授与式</p> <p>4年～6年</p> <p>修了式</p>	<p>進級・卒業を祝う会</p>	<p>進級・卒業を祝う会</p>	<p>進級・卒業を祝う会</p>	<p>進級・卒業を祝う会</p>	<p>進級・卒業を祝う会</p>	<p>進級・卒業を祝う会</p>
生活	<p>新しい学年 運動会頑張ろう</p> <p>新しい友達 お父さんお母さんありがとう</p> <p>春の花壇 スポーツ大会</p> <p>種を蒔こう</p> <p>○調理学習 (おやつ、軽食、ケーキの飾り付け、会食メニューなど)</p> <p>○買い物学習 (調理実習の材料、遠足のおやつ、花や野菜の苗など)</p> <p>○裁縫 (アイロンアップリケ、刺繍、小物作り、プレゼントなど)</p> <p>○朝の会 (挨拶・健康観察・学習予定・絵本の読み聞かせ・ランニングなど)</p>												
国語	<p>新しい学年のめあて</p> <p>運動会の招待状 楽しかった思い出 (作文)</p> <p>しおり作り 思い出 (作文)</p> <p>○話をしよう (休みの日のこと・お父さん、お母さんのこと・自己紹介)</p> <p>個別課題学習 (形や文字のマッチング、文字練習、文作り、内容の読取り、発音・発語練習など)</p>												
算数	<p>○カレンダー (きのう、きょう、あした、先週、今週、来週・・・)</p> <p>○買い物のお金 (硬貨の区別、お金の組み合わせ、おつり、合計など)</p> <p>個別課題学習 (色や形のマッチング、分類、数唱、集合数、合成・分解、加法、減法、乗法、長さの測定など)</p>												
音楽	<p>●のびのび歌おう： 校歌 こいのぼり かたつむり たなぼたさま</p> <p>●楽器で遊ぼう： たのしいね ゆかいな木琴 さくら星</p> <p>●歌に合わせて遊ぼう： 手遊び歌 手話の歌</p> <p>●楽しく聴こう： さくらさくら カッコウワルツ ことざ 動物の劇肉祭</p>												
図工	<p>自分の顔、自由画 運動会の絵 水に浮かぶ</p> <p>歓迎会の飾り 万国旗 おもちや</p> <p>こいのぼり 父母へのプレゼント 絵描き歌 楽しいプール</p>												
体育	<p>ならびっこ かけっこ 折り返し競争 校庭の遊具 楽しいプール</p> <p>いろいろな歩き方 一緒に走ろう 的当て</p> <p>ランニング</p>												

資料3

2003年
カレンダーを作ろう

図工 20 時間
生活 2 時間

もうすぐ
今年のカレンダー
が終わるね

今度は、何月の
絵を描こうかな

1, **カレンダー作りの計画を立てよう** ①

- 2003年 はどんなカレンダーにしようか？
 - ・ 日めくり, 月ごと, 1枚 など
 - ・ 版画, 手書き, パソコン など

- どんな手順で作るのかな？
 - ・ 絵柄を決める
 - ・ 下絵を描く
 - ・ 数字を貼る
 - ・ 印刷をする ……………

中学で交流会が
あるので持って
行こう

○ 幾つ作ろうか？

シルビア先生やも
みの木さんにも
あげよう

交流級や校
内の先生にも
あげたいな。

〈生活科〉 ①
一年間の行事や
自然の様子を知
ろう

2, **カレンダーを作ろう** ⑱

- ・ 下絵作り
- ・ 来年のカレンダーを見ながら数字を貼る
- ・ 印刷をする
- ・ 休日に印を押す
- ・ クラスの印を押す
- ・ 12枚重ねて綴じる

何色で印刷しようか考えよう
きれいに印刷できるように刷り
方を工夫しよう

みんなの名前や干支の絵
を描いたりしてすてきな
表紙にしよう

- ・ 表紙をつけてミシン目を入れる
- ・ 穴をあけて紐を通す

3, **カレンダーをプレゼントしよう (生活科)** ①

- ・ リボンをつける
- ・ 分担してプレゼントする

きちんと挨拶をして
渡そう

すてきなカレンダーができたね。
先生方や家の人に喜んでもらったよ。